

平川市食・農・観の活性化拠点に関するアンケート調査結果

1 調査目的

『平川市産業振興に係る基本構想』の中で検討することとしている「食・農・観の活性化拠点」の整備にあたり、市民や企業等の皆さまから、拠点に備えるべき機能のニーズ等を把握することを目的とする。

2 調査対象

無作為で抽出した平川市民、市内企業、その他団体 560人・社

3 調査期間

令和6年7月18日（木）から8月9日（金）

4 回答人数、回答率

121人（うち市民107、企業・団体14）、21.6%

5 回答結果

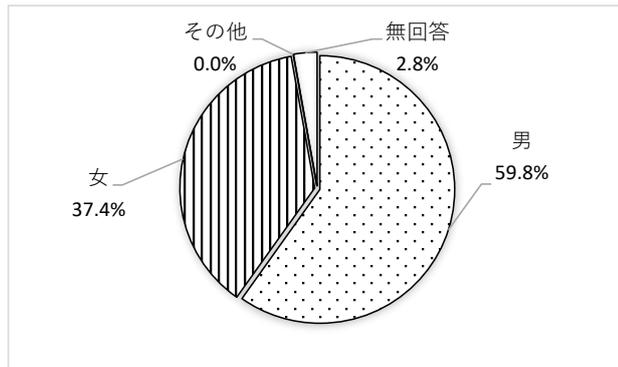
次項のとおり

1 あなた自身についてお伺いします。企業・その他の団体は【問5】へお進みください。

問1 あなたご自身について、それぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください。

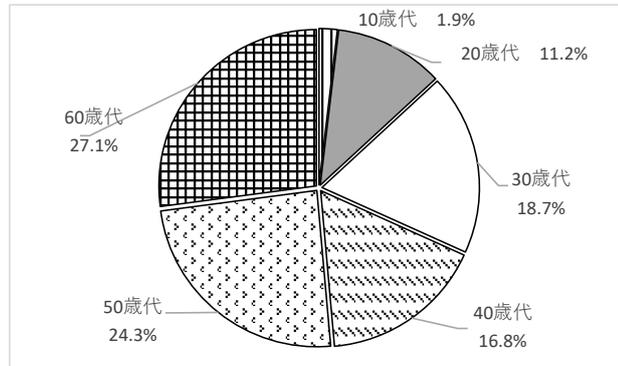
【性別】

	回答	人数	回答割合
1	男	64	59.8%
2	女	40	37.4%
3	その他	0	0.0%
99	無回答	3	2.8%
	計	107	



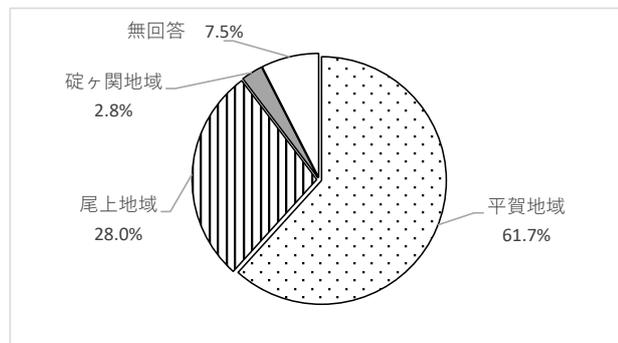
【年代】

	回答	人数	回答割合
1	10歳代	0	0.0%
2	20歳代	2	1.9%
3	30歳代	12	11.2%
4	40歳代	20	18.7%
5	50歳代	18	16.8%
6	60歳代	26	24.3%
7	70歳代以上	29	27.1%
99	無回答	0	0.0%
	計	107	



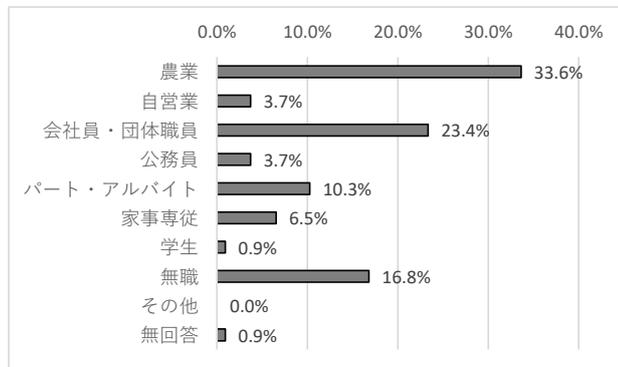
【居住地】

	回答	人数	回答割合
1	平賀地域	66	61.7%
2	尾上地域	30	28.0%
3	碓ヶ関地域	3	2.8%
99	無回答	8	7.5%
	計	107	



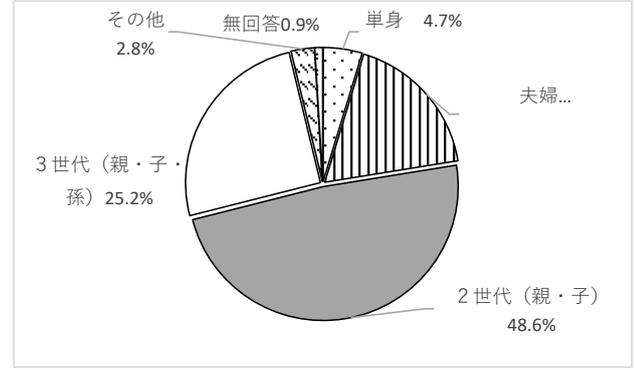
【職業】

	回答	人数	回答割合
1	農業	36	33.6%
2	自営業	4	3.7%
3	会社員・団体職員	25	23.4%
4	公務員	4	3.7%
5	パート・アルバイト	11	10.3%
6	家事専従	7	6.5%
7	学生	1	0.9%
8	無職	18	16.8%
9	その他	0	0.0%
99	無回答	1	0.9%
	計	107	



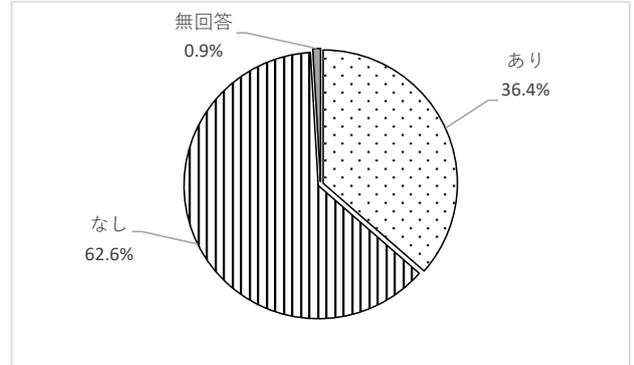
【世帯構成】

	回答	人数	回答割合
1	単身	5	4.7%
2	夫婦	19	17.8%
3	2世代（親・子）	52	48.6%
4	3世代（親・子・孫）	27	25.2%
5	その他	3	2.8%
99	無回答	1	0.9%
	計	107	



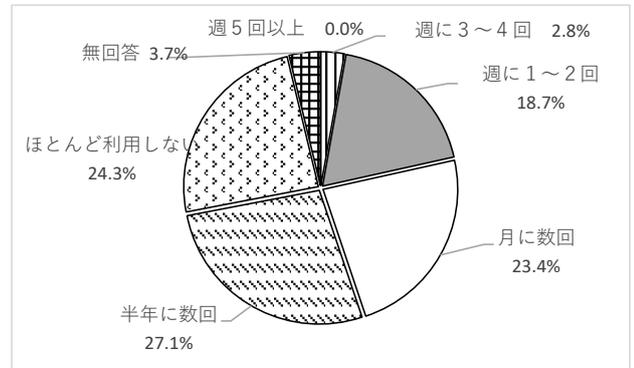
【世帯における18歳以下の子供の有無】

	回答	人数	回答割合
1	あり	39	36.4%
2	なし	67	62.6%
99	無回答	1	0.9%
	計	107	



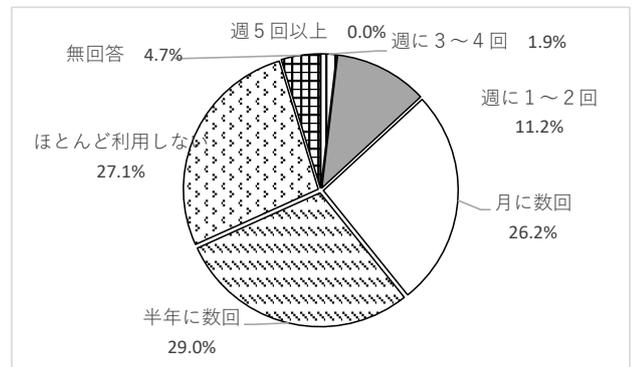
【市内産直施の利用頻度】

	回答	人数	回答割合
1	週5回以上	0	0.0%
2	週に3～4回	3	2.8%
3	週に1～2回	20	18.7%
4	月に数回	25	23.4%
5	半年に数回	29	27.1%
6	ほとんど利用しない	26	24.3%
99	無回答	4	3.7%
	計	107	



【道の駅（市外を含む）の利用頻度】

	回答	人数	回答割合
1	週5回以上	0	0.0%
2	週に3～4回	2	1.9%
3	週に1～2回	12	11.2%
4	月に数回	28	26.2%
5	半年に数回	31	29.0%
6	ほとんど利用しない	29	27.1%
99	無回答	5	4.7%
	計	107	

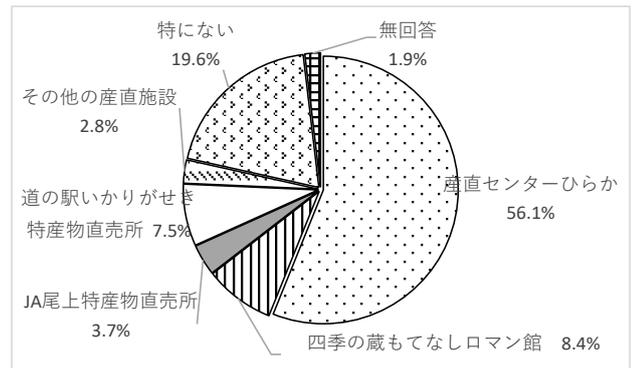


2 市内産直施設についてお伺いします。

問2 市内産直施設のうち主に利用する施設はどこですか。（1つに○）

「産直センターひらか」と回答した人の割合が56.1%と最も高い。一方、普段利用している産直施設がないと回答した人が約20%いる。

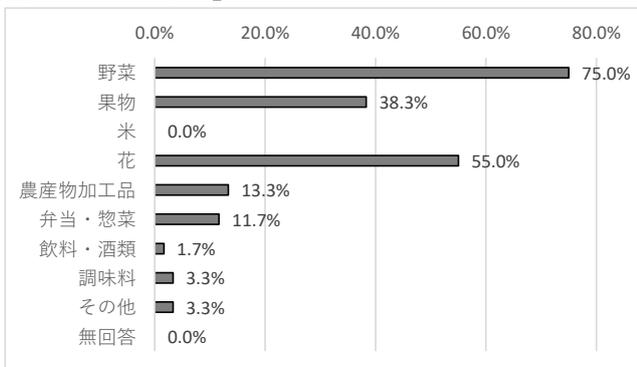
	回答	人数	回答割合
1	産直センターひらか	60	56.1%
2	四季の蔵もてなしロマン館	9	8.4%
3	JA尾上特産物直売所	4	3.7%
4	道の駅いかりがせき特産物直売所	8	7.5%
5	その他の産直施設	3	2.8%
6	特にない	21	19.6%
99	無回答	2	1.9%
	計	107	



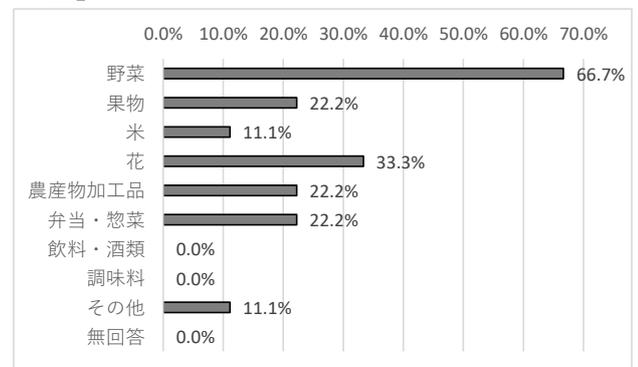
問3 問2で回答した施設で主に購入している商品は何ですか。（3つまで○）

いずれの施設においても「野菜、花、果物」と回答した人の割合が高い。道の駅いかりがせき特産物直売所では「農産物加工品」を購入している人が一定数いる。

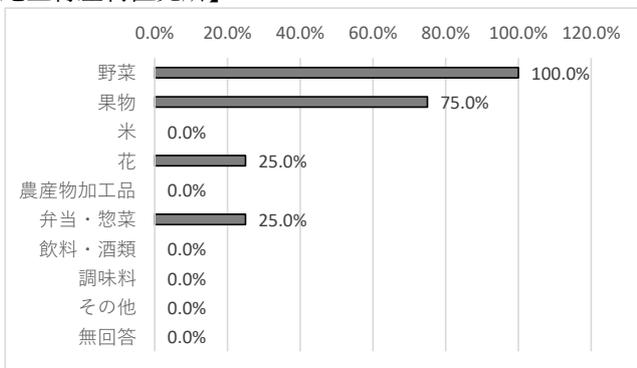
【産直センターひらか】



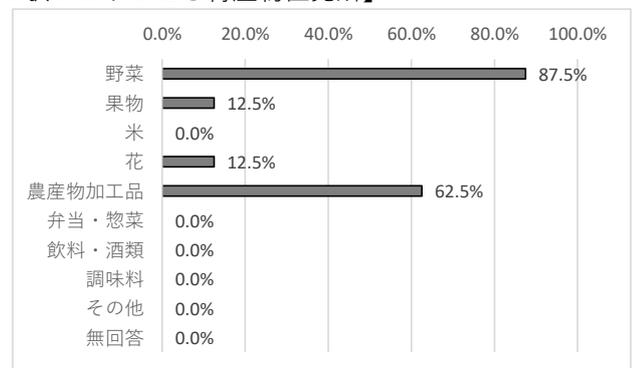
【ロマン館】



【JA尾上特産物直売所】



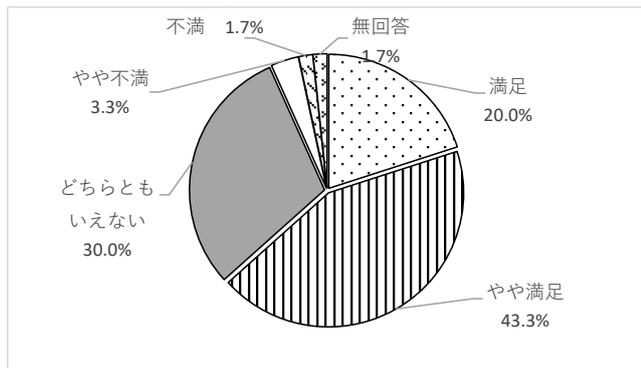
【道の駅いかりがせき特産物直売所】



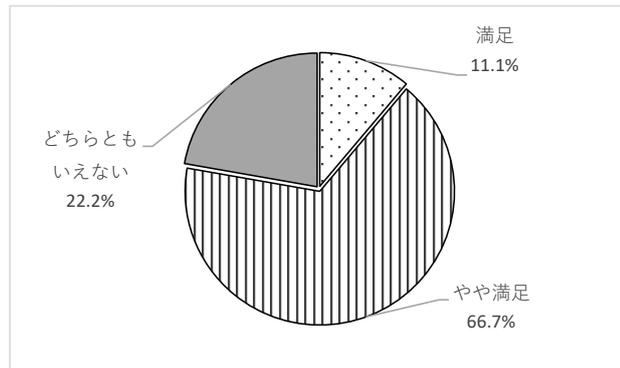
問4 問2で回答した施設にどの程度満足されていますか。(1つに○)

いずれの施設においても「やや満足」と回答した人の割合が最も高く、「不満」、「やや不満」と回答した人の割合はごく少数である。

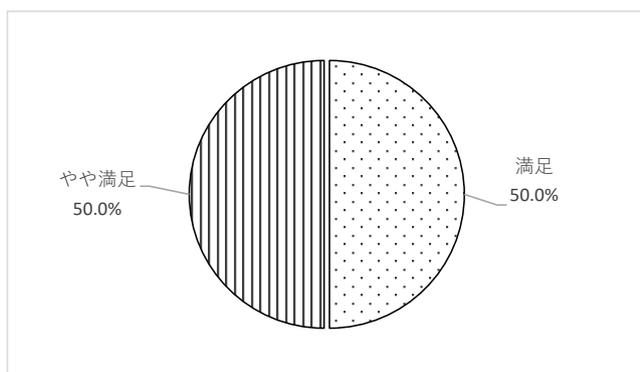
【産直センターひらか】



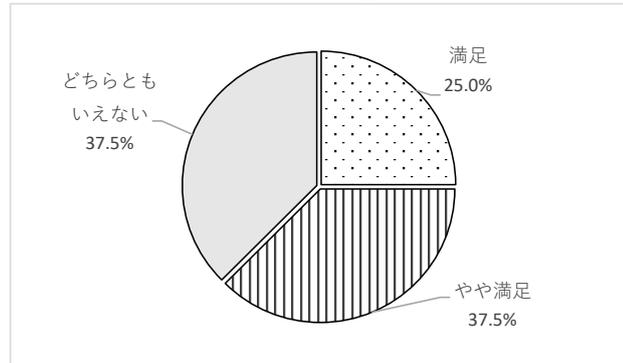
【ロマン館】



【JA尾上特産物直売所】



【道の駅いかりがせき特産物直売所】



問5 市内産直施設の商品の多くは農産物ですが、どのような商品の品揃えを増やしたり新たに取扱えば良いと思いますか。

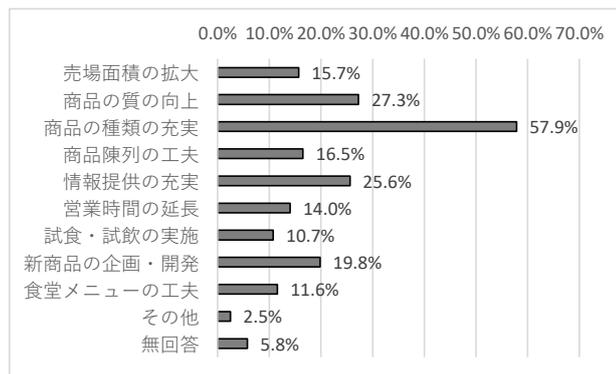
【主な回答】

- ・野菜、農産物加工品（惣菜、漬物、スイーツ等）、弁当、パン、土産品、レストラン・お食事処。
- ・SNS等で人気の商品。
- ・プレミアム感を出した新商品を開発・広く情報発信し、「ここでしか買えない」と思わせる物。
- ・果物や野菜等の詰め合わせ品。
- ・少量袋や大量袋があればどんな家庭でも買いやすいと思う。
- ・スーパーのような品揃えが必要。
- ・出向くと売り切れている。事前に在庫をアプリで確認できたら良い。
- ・地域の特産物直売に加え、それをふんだんに使用した加工品や料理を提供する施設。
- ・子どもが楽しめるような縁日のようなゲーム、くじなど遊べるものがあるととっても行くと思う。
- ・核家族なので少量で小分けなら購入しやすい。

問6 市内産直施設に関する要望をお聞かせください。(3つまで○)

「商品の種類の充実」と回答した人の割合が57.9%と最も高く、次いで「商品の質の向上」が27.3%、「情報提供の充実」が25.6%となっている。

	回答	人数	回答割合
1	売場面積の拡大	19	15.7%
2	商品の質の向上	33	27.3%
3	商品の種類の充実	70	57.9%
4	商品陳列の工夫	20	16.5%
5	情報提供の充実	31	25.6%
6	営業時間の延長	17	14.0%
7	試食・試飲の実施	13	10.7%
8	新商品の企画・開発	24	19.8%
9	食堂メニューの工夫	14	11.6%
10	その他	3	2.5%
99	無回答	7	5.8%
	計	121	



《年代別》

- ・いずれの年代においても「商品の種類の充実」が最も高い割合になっている。
- ・団体・企業では、「商品の質の向上」、「情報提供の充実」、「新商品の企画・開発」の割合が高い。
- ・30～40歳代では「情報提供の充実」、50～60歳代では「新商品の企画・開発」、70歳代以上では「商品の質の向上」の割合が高い。

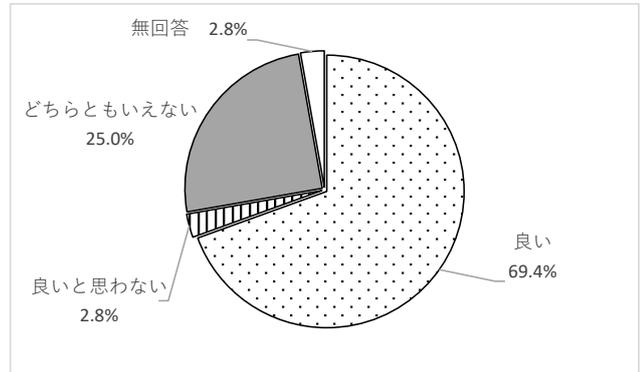
	調査数	売場面積の拡大	商品の質の向上	商品の種類の充実	商品陳列の工夫	情報提供の充実	営業時間の延長	試食・試飲の実施	新商品の企画・開発	食堂メニューの工夫	その他	無回答
全体	121	19	33	70	20	31	17	13	24	14	3	7
	207.4%	15.7%	27.3%	57.9%	16.5%	25.6%	14.0%	10.7%	19.8%	11.6%	2.5%	5.8%
団体・企業	14	2	5	8	4	5	1	1	5	3	0	0
	242.9%	14.3%	35.7%	57.1%	28.6%	35.7%	7.1%	7.1%	35.7%	21.4%	0.0%	0.0%
10～20歳代	2	1	0	1	0	0	0	2	1	1	0	0
	300.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
30～40歳代	32	3	8	19	5	12	6	2	5	6	2	1
	215.6%	9.4%	25.0%	59.4%	15.6%	37.5%	18.8%	6.3%	15.6%	18.8%	6.3%	3.1%
50～60歳代	44	9	9	27	4	7	6	4	10	3	0	3
	186.4%	20.5%	20.5%	61.4%	9.1%	15.9%	13.6%	9.1%	22.7%	6.8%	0.0%	6.8%
70歳代以上	29	4	11	15	7	7	4	4	3	1	1	3
	206.9%	13.8%	37.9%	51.7%	24.1%	24.1%	13.8%	13.8%	10.3%	3.4%	3.4%	10.3%

3 農産物加工について伺います。（農業者を対象とした設問）

問7 基本構想では、地域の事業者が連携し、農産物加工を進めることを一つの方針としていますが、この取組に関してどのように考えますか。（1つに○）

地域一体型6次産業化の取組を「良い」と考える農業者が69.4%と大多数で、「良いと思わない」と考える農業者は約3%と少数である。「基本構想が伝わってこない」、「中間業者が多いと生産者の収入が少なくなる」などの声もあった。

	回答	人数	回答割合
1	良い	25	69.4%
2	良いと思わない	1	2.8%
3	どちらともいえない	9	25.0%
99	無回答	1	2.8%
	計	36	



問8 問7の回答の理由を自由にご記載ください。

【主な回答】

「良い」

- ・農業者だけでは加工品開発や販売はハードルが高いので専門分野と協力できたら良いと思う。
- ・外部専門家を活用することで、より良い質が高い商品ができること。
- ・農家、地域事業者がお互いに協力出来、たいへん良いと思う。
- ・生産、加工、販売のプロとしっかり役割の分担が、それぞれの発展になり、結果的に全体の活性化につながると思う。
- ・一体となった取組はとても良いと思うが、フィードバックが生産者にもっと届くとよい

「良いと思わない」

- ・生産者が加工までして在庫を抱えるのはリスクである。

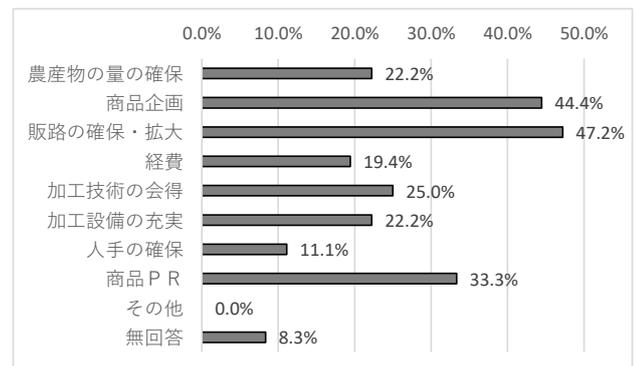
「どちらともいえない」

- ・基本構想がしっかりと伝わってこない気がする。生産者、加工業者のマッチングがあると良い気がする。
- ・中間業者が多いと販売価格が高いわりに、生産者の収入が少なくなる。
- ・地域の物を売るのは良いが、若者が欲しいと思う商品を作って欲しい。

問9 農産物加工の取組における課題は何だと思いますか。（3つまで○）

「販路の確保・拡大」、「商品企画」、「商品PR」と回答した人の割合が高い。これらを解決するためには、外部専門家の活用が鍵になるとされる。

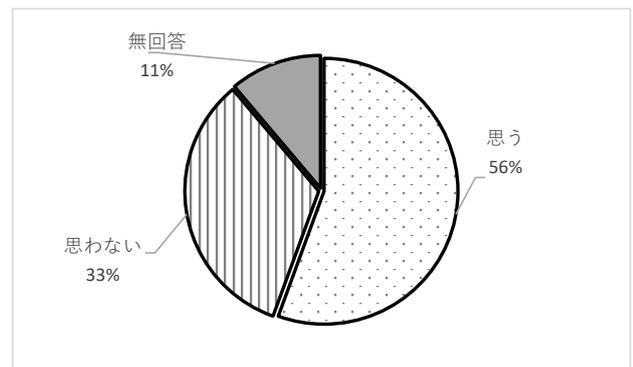
	回答	人数	回答割合
1	農産物の量の確保	8	22.2%
2	商品企画	16	44.4%
3	販路の確保・拡大	17	47.2%
4	経費	7	19.4%
5	加工技術の会得	9	25.0%
6	加工設備の充実	8	22.2%
7	人手の確保	4	11.1%
8	商品PR	12	33.3%
9	その他	0	0.0%
99	無回答	3	8.3%
	計	36	



問10 基本構想で掲げる農産物加工の取組に対して、農産物を提供したいと思いますか。（1つに○）

「農産物を提供したいと思う」と回答した人の割合が55.6%と半数を超える。

	回答	人数	回答割合
1	思う	20	55.6%
2	思わない	12	33.3%
99	無回答	4	11.1%
	計	36	



問11 問10の回答の理由を自由にご記載ください。

【主な回答】

「農産物を提供したいと思う」

- ・ 所得向上のため。
- ・ 取組に参加できれば楽しそう。
- ・ 形状等により販売できない物のロスの軽減に繋がる。
- ・ 確実に必要とされるものを作れることになるから。
- ・ 産業全体が盛り上がっていくと良いと思うので、協力できることはしたい。
- ・ それほど儲けにならなくても発信していくことが大事だと思う。

「農産物を提供したいと思わない」

- ・ 提供するだけの量がない。
- ・ 価格次第。
- ・ 利益が少なそう。
- ・ 時期的なものしかないので提供できない。

問12 問10で「1）思う」と回答した方にお尋ねします。提供したいと思う農産物とその量についてご記載ください。

【主な回答】

- ・
※量については、「分からない」と回答する人がほとんどであった。

4 食・農・観の活性化拠点についてお伺いします。

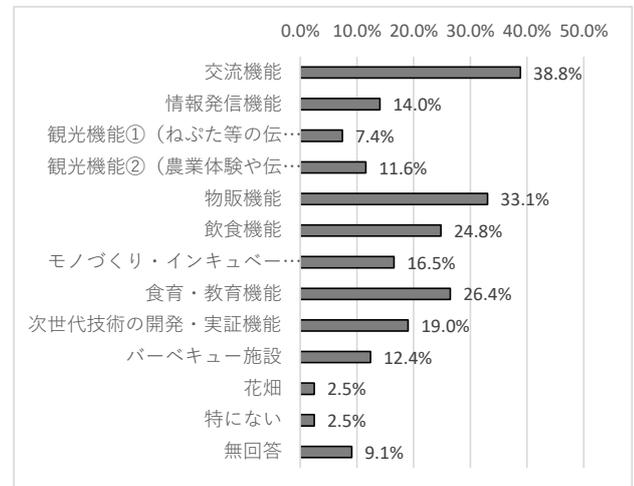
問13 次の機能・施設の中で、拠点に必要なと思うものはどれですか。「地域住民」「市外からの来訪者又は道路利用者」の2つの立場になってご回答ください。また、選択肢にないものがあれば、その他の欄に記入してください。
(3つまで番号を記入)

【地域住民】「交流機能」と回答した人の割合が**38.8%**と最も高く、次いで「物販機能(33.1%)」、「食育・教育機能(26.4%)」と続く。

【市外来訪者】「飲食機能」と回答した人の割合が**40.5%**と最も高く、次いで、「観光機能①ねぶた等の伝統芸能の体験(30.6%)」、「物販機能(27.3%)」と続く。

【地域住民】

	回答	人数	回答割合
1	交流機能	47	38.8%
2	情報発信機能	17	14.0%
3	観光機能①(ねぶた等の伝統芸能の体験)	9	7.4%
4	観光機能②(農業体験や伝承料理調理体験)	14	11.6%
5	物販機能	40	33.1%
6	飲食機能	30	24.8%
7	モノづくり・インキュベート機能	20	16.5%
8	食育・教育機能	32	26.4%
9	次世代技術の開発・実証機能	23	19.0%
10	バーベキュー施設	15	12.4%
11	花畑	3	2.5%
12	特にない	3	2.5%
99	無回答	11	9.1%
	計	121	



(参考) その他の主な回答

・ホテル、キャンプ場、子供の遊び場、FM放送

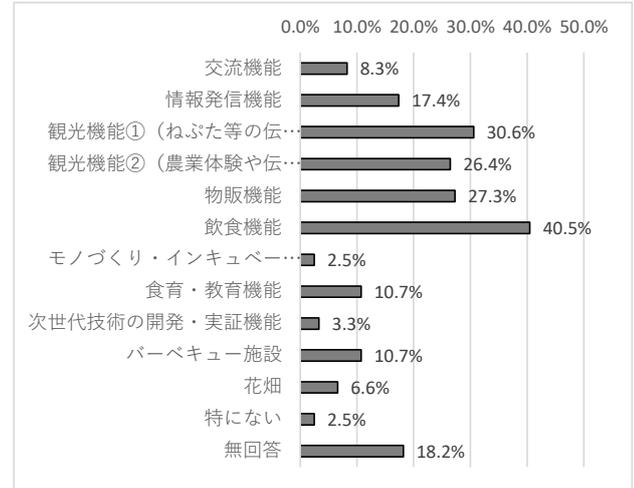
《年代別》

- ・「交流機能」、「物販機能」、「食育・教育機能」については、ほとんどの年代で高い回答割合となっている。
- ・団体・企業、50~60歳代、70歳代以上では、「交流機能」の割合が最も高く、30~40歳では、「食育・教育機能」の割合が最も高い。
- ・「飲食機能」、「次世代技術の開発・実証機能」、「バーベキュー施設」が高い割合となっている年代もある。

	調査数	交流機能	情報発信機能	観光機能①	観光機能②	物販機能	飲食機能	モノづくり・インキュベート機能	食育・教育機能	次世代技術の開発・実証機能	バーベキュー施設	花畑	特にない	無回答
全体	121	47	17	9	14	40	30	20	32	23	15	3	3	11
	218.2%	38.8%	14.0%	7.4%	11.6%	33.1%	24.8%	16.5%	26.4%	19.0%	12.4%	2.5%	2.5%	9.1%
団体・企業	14	7	2	1	2	5	5	2	4	1	5	0	0	1
	250.0%	50.0%	14.3%	7.1%	14.3%	35.7%	35.7%	14.3%	28.6%	7.1%	35.7%	0.0%	0.0%	7.1%
10~20歳代	2	2	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0
	300.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30~40歳代	32	8	5	4	2	7	7	5	12	9	6	0	0	1
	206.3%	25.0%	15.6%	12.5%	6.3%	21.9%	21.9%	15.6%	37.5%	28.1%	18.8%	0.0%	0.0%	3.1%
50~60歳代	44	20	6	2	5	18	11	6	9	8	3	2	1	4
	215.9%	45.5%	13.6%	4.5%	11.4%	40.9%	25.0%	13.6%	20.5%	18.2%	6.8%	4.5%	2.3%	9.1%
70歳代以上	29	10	4	2	5	10	7	5	6	5	0	1	2	5
	213.8%	34.5%	13.8%	6.9%	17.2%	34.5%	24.1%	17.2%	20.7%	17.2%	0.0%	3.4%	6.9%	17.2%

【市外からの来訪者又は道路利用者】

	回答	人数	回答割合
1	交流機能	10	8.3%
2	情報発信機能	21	17.4%
3	観光機能①（ねぶた等の伝統芸能の体験）	37	30.6%
4	観光機能②（農業体験や伝承料理調理体験）	32	26.4%
5	物販機能	33	27.3%
6	飲食機能	49	40.5%
7	モノづくり・インキュベート機能	3	2.5%
8	食育・教育機能	13	10.7%
9	次世代技術の開発・実証機能	4	3.3%
10	バーベキュー施設	13	10.7%
11	花畑	8	6.6%
12	特にない	3	2.5%
99	無回答	22	18.2%
	計	121	



(参考) その他の主な回答

・ 飲食店、温泉、キッチンカー

《年代別》

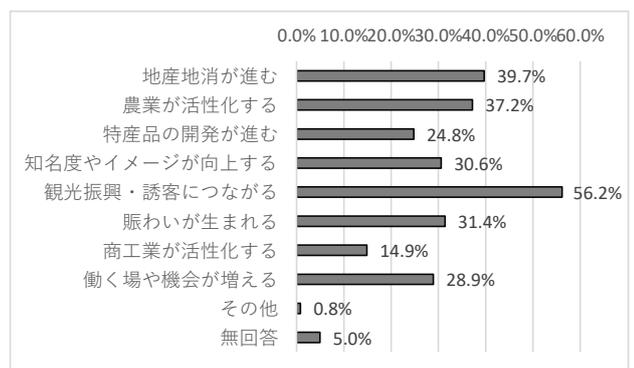
・ いずれの年代においても「観光機能」、「物販機能」、「飲食機能」が高い割合になっており、年代による大きな傾向の違いはない。

	調査数	交流機能	情報発信機能	観光機能①	観光機能②	物販機能	飲食機能	モノづくり・インキュベート機能	食育・教育機能	次世代技術の開発・実証機能	バーベキュー施設	花畑	特にない	無回答
全体	121	10	21	37	32	33	49	3	13	4	13	8	3	22
	205.0%	8.3%	17.4%	30.6%	26.4%	27.3%	40.5%	2.5%	10.7%	3.3%	10.7%	6.6%	2.5%	18.2%
団体・企業	14	2	3	3	6	7	10	1	2	0	3	0	0	1
	271.4%	14.3%	21.4%	21.4%	42.9%	50.0%	71.4%	7.1%	14.3%	0.0%	21.4%	0.0%	0.0%	7.1%
10～20歳代	2	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0
	300.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
30～40歳代	32	2	6	13	8	7	19	0	3	2	3	1	1	2
	209.4%	6.3%	18.8%	40.6%	25.0%	21.9%	59.4%	0.0%	9.4%	6.3%	9.4%	3.1%	3.1%	6.3%
50～60歳代	44	4	7	13	9	10	14	1	6	0	7	2	2	9
	190.9%	9.1%	15.9%	29.5%	20.5%	22.7%	31.8%	2.3%	13.6%	0.0%	15.9%	4.5%	4.5%	20.5%
70歳代以上	29	2	5	6	8	8	5	1	2	2	0	4	0	10
	182.8%	6.9%	17.2%	20.7%	27.6%	27.6%	17.2%	3.4%	6.9%	6.9%	0.0%	13.8%	0.0%	34.5%

問14 拠点を整備する場合、市の産業や地域にどのような効果をもたらすことを期待したいですか。（3つまで○）

最も多かったのが「観光振興・誘客につながる（56.2%）」で、回答者の半数以上の方が期待を寄せている。また、「地産地消が進む（39.7%）」、「農業が活性化する（37.2%）」といった効果を期待する方も多い。

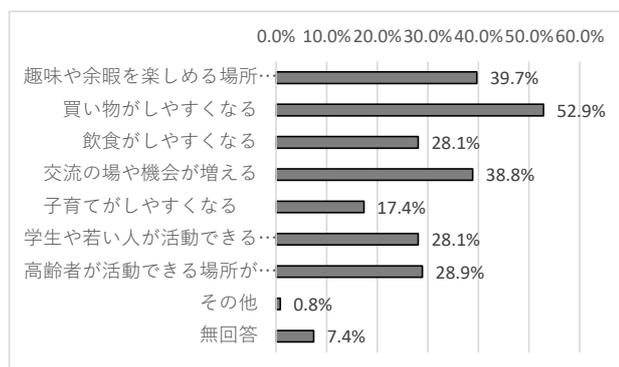
	回答	人数	回答割合
1	地産地消が進む	48	39.7%
2	農業が活性化する	45	37.2%
3	特産品の開発が進む	30	24.8%
4	知名度やイメージが向上する	37	30.6%
5	観光振興・誘客につながる	68	56.2%
6	賑わいが生まれる	38	31.4%
7	商工業が活性化する	18	14.9%
8	働く場や機会が増える	35	28.9%
9	その他	1	0.8%
99	無回答	6	5.0%
	計	121	



問15 拠点を整備する場合、日々の暮らしにどのような効果をもたらすことを期待したいですか。（3つまで○）

最も多かったのが「買い物がしやすくなる（52.9%）」で、回答者の半数以上の方が期待を寄せている。また、「趣味や余暇が楽しめる場所が増える（39.7%）」、「交流の場や機会が増える（38.8%）」といった効果を期待する方も多い。

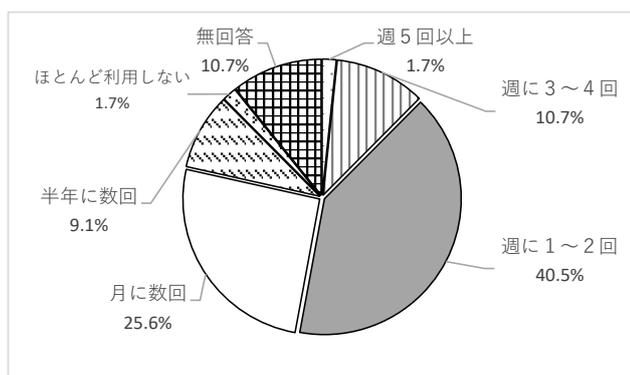
	回答	人数	回答割合
1	趣味や余暇を楽しめる場所が増える	48	39.7%
2	買い物がしやすくなる	64	52.9%
3	飲食がしやすくなる	34	28.1%
4	交流の場や機会が増える	47	38.8%
5	子育てがしやすくなる	21	17.4%
6	学生や若い人が活動できる場所が増える	34	28.1%
7	高齢者が活動できる場所が増える	35	28.9%
8	その他	1	0.8%
99	無回答	9	7.4%
	計	121	



問16 問13でお答えいただいた拠点に必要なと思う機能が整備された場合、どの程度利用したいと思いますか。（1つに○）

「週に1～2回」と回答した人の割合が40.5%と最も高く、「週5回以上」、「週3～4回」、「週1～2回」を合わせた割合（週1回以上利用）は半数を超える。これは、現在の市内産直施設、道の駅の利用頻度より高く（問1-7、8：「半年に数回利用」の割合が最も高い）、拠点への期待が伺える結果である。

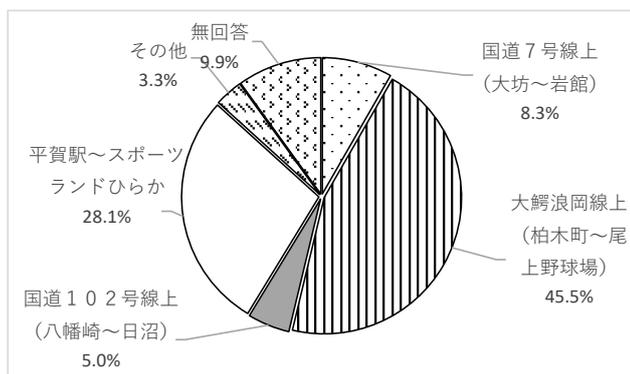
	回答	人数	回答割合
1	週5回以上	2	1.7%
2	週に3～4回	13	10.7%
3	週に1～2回	49	40.5%
4	月に数回	31	25.6%
5	半年に数回	11	9.1%
6	ほとんど利用しない	2	1.7%
99	無回答	13	10.7%
	計	121	



問17 拠点を整備場所について、どこが適切と考えますか。（1つに○）

「大鰐浪岡線上（柏木町～尾上野球場）」と回答した人の割合が45.5%と最も高く、次いで、「平賀駅～スポーツランドひらか」が28.1%となっている。

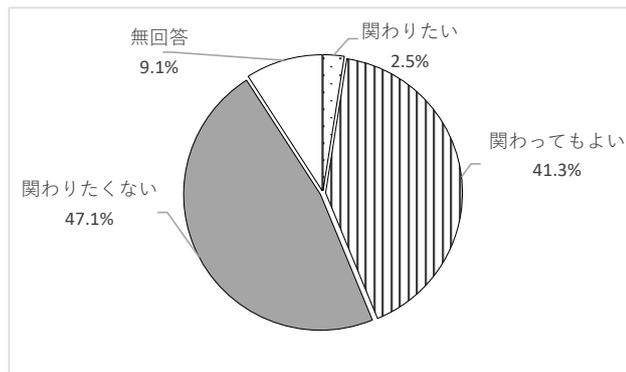
	回答	人数	回答割合
1	国道7号線上（大坊～岩館）	10	8.3%
2	大鰐浪岡線上（柏木町～尾上野球場）	55	45.5%
3	国道102号線上（八幡崎～日沼）	6	5.0%
4	平賀駅～スポーツランドひらか	34	28.1%
5	その他	4	3.3%
99	無回答	12	9.9%
	計	121	



問18 拠点の運営（経営、就労等）に関わりたいと思いますか。（1つに○）

「関わりたい」、「関わってもよい」と回答した人の割合が43.8%、「関わりたくない」と回答した人の割合47.1%となっており、拠点運営への関わり方については意見が拮抗している。

	回答	人数	回答割合
1	関わりたい	3	2.5%
2	関わってもよい	50	41.3%
3	関わりたくない	57	47.1%
99	無回答	11	9.1%
	計	121	



《年代別》

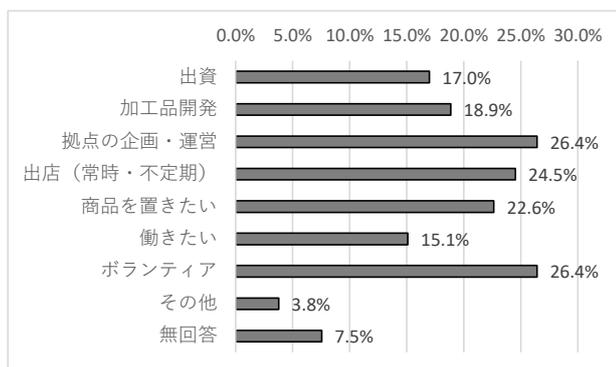
・団体・企業、30~40歳代は「関わってもよい」と回答する人の割合が高いが、50歳代以上になると「関わりたくない」とする方の割合が高い。

	調査数	関わりたい	関わってもよい	関わりたくない	無回答
全体	121	3	50	57	11
	100.0%	2.5%	41.3%	47.1%	9.1%
団体・企業	14	1	9	3	1
	92.9%	7.1%	64.3%	21.4%	7.1%
10~20歳代	2	0	2	0	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
30~40歳代	32	2	16	14	0
	100.0%	6.3%	50.0%	43.8%	0.0%
50~60歳代	44	0	15	22	7
	100.0%	0.0%	34.1%	50.0%	15.9%
70歳代以上	29	0	8	18	3
	100.0%	0.0%	27.6%	62.1%	10.3%

問19 問18で「1）関わりたい」「2）関わってもよい」と回答した方にお尋ねします。どのように関わりたいと思いますか。（全てに○）

「拠点の企画・運営」、「ボランティア」と回答した人の割合が26.4%と最も高く、次いで「出店（常時・不定期）」と回答した人の割合が24.5%となっている。

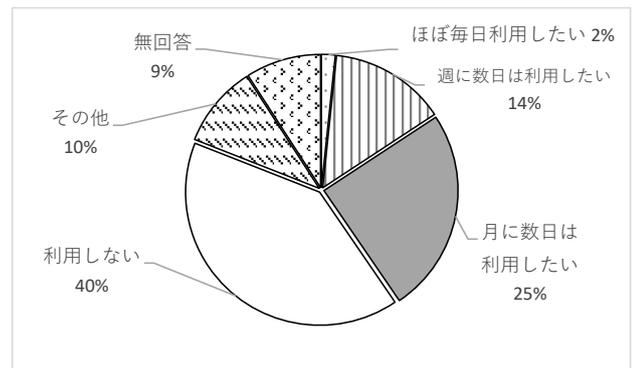
	回答	人数	回答割合
1	出資	9	17.0%
2	加工品開発	10	18.9%
3	拠点の企画・運営	14	26.4%
4	出店（常時・不定期）	13	24.5%
5	商品を置きたい	12	22.6%
6	働きたい	8	15.1%
7	ボランティア	14	26.4%
8	その他	2	3.8%
99	無回答	4	7.5%
	計	53	



問20 拠点において、高齢者向けの弁当や惣菜等の宅配サービスを提供する場合、利用したいですか。(1つに○)

「利用しない」と回答した人の割合が40.5%と最も高く、次いで「月に数日は利用したい」と回答した人の割合が24.8%となっている。その他と回答した人の中には、「将来的には利用したい」という声が多くあった。

	回答	人数	回答割合
1	ほぼ毎日利用したい	2	1.7%
2	週に数日は利用したい	17	14.0%
3	月に数日は利用したい	30	24.8%
4	利用しない	49	40.5%
5	その他	12	9.9%
99	無回答	11	9.1%
	計	121	



《年代別》

・年代が上がるにつれ、「利用しない」と回答する人の割合は低くなっており、50～60歳代は40%超、70歳代以上は約50%が利用の意向を示している。このことから、宅配サービスは一定の需要が見込めるものと考えられる。

	調査数	ほぼ毎日利用した	利週用にし数た日は	利月用にし数た日は	利用しない	その他	無回答
全体	121	2	17	30	49	12	11
	100.0%	1.7%	14.0%	24.8%	40.5%	9.9%	9.1%
団体・企業	14	0	4	3	3	3	1
	100.0%	0.0%	28.6%	21.4%	21.4%	21.4%	7.1%
10～20歳代	2	0	0	2	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～40歳代	32	1	3	3	22	2	1
	100.0%	3.1%	9.4%	9.4%	68.8%	6.3%	3.1%
50～60歳代	44	1	3	15	16	4	5
	100.0%	2.3%	6.8%	34.1%	36.4%	9.1%	11.4%
70歳代以上	29	0	7	7	8	3	4
	100.0%	0.0%	24.1%	24.1%	27.6%	10.3%	13.8%

問21 問20の宅配サービスの利用にあたっての要望や懸念されることを自由にご記載ください。

【主な回答】

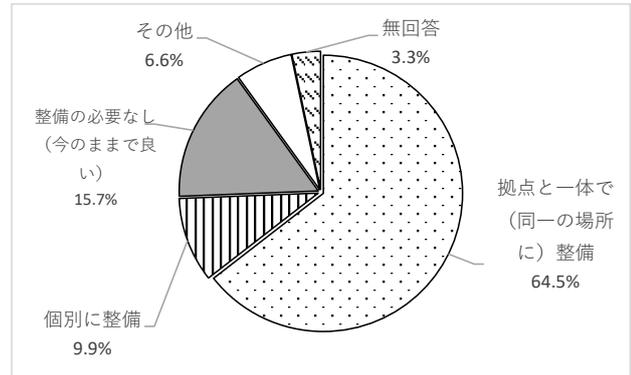
- ・料金、品質、種類。
- ・利用方法が分かりやすく簡潔である。
- ・低カロリー食や減塩食があれば良い。
- ・少量パックがあるとありがたい。
- ・噛む力が衰えているためやわらかい料理。
- ・安否確認を兼ねたサービスの提供。
- ・宅配サービスは既に他社が行っており勝てない。月1回程度、高齢者が集まって料理し交流する会を支援した方が良い。

5 ねぶた展示館（世界一の扇ねぶた展示施設）についてお伺いします。

問22 ねぶた展示館は、建設から20年が経過し設備の老朽化が進んでいることなどから建替えを検討しています。ねぶた展示館の整備方法についてどの方法が適切と考えますか。（1つに○）

「拠点と一体で整備」と回答した人の割合が最も高く64.5%となっている。一方で「整備の必要なし」と考える人も15.7%いる。その他の中には、「市役所内に展示」、「補修対応」という意見もあった。

	回答	人数	回答割合
1	拠点と一体で（同一の場所に）整備	78	64.5%
2	個別に整備	12	9.9%
3	整備の必要なし（今のままで良い）	19	15.7%
4	その他	8	6.6%
99	無回答	4	3.3%
	計	121	



問23 問22で「2）個別に整備」「3）整備の必要なし」と回答した方にお尋ねします。回答の理由を自由にご記載ください。

【主な回答】

「個別に整備」

- ・新築する場合、他の産業にも恩恵が発生するので。
- ・（場所）商工会館の跡地がいいと思う。
- ・（場所）今の場所にねぶたがあるという認識が定着しているので場所は変えない方が良く思う。

「整備の必要なし」

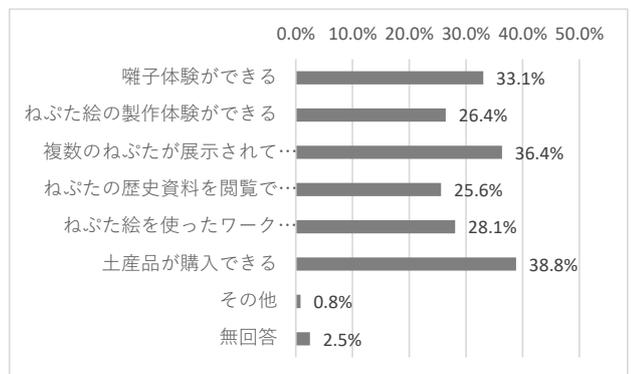
- ・経費が多額。
- ・近隣市町村に同様の施設があり勝てない。別なところにお金を活用した方が良く。

問24 問22で「1）拠点と一体で整備」「2）個別に整備」と回答した方にお尋ねします。

ねぶた展示館を整備する場合、どのような施設になれば良いと思いますか。（3つまで○）

相対的には「土産品が購入できる」、「複数のねぶたが展示されている」、「嚙子体験ができる」の順に回答する人の割合が高いが、その他の選択肢も一定の回答割合となっており、意見は拮抗している。

	回答	人数	回答割合
1	嚙子体験ができる	40	33.1%
2	ねぶた絵の製作体験ができる	32	26.4%
3	複数のねぶたが展示されている	44	36.4%
4	ねぶたの歴史資料を閲覧できる	31	25.6%
5	ねぶた絵を使ったワークショップができる	34	28.1%
6	土産品が購入できる	47	38.8%
7	その他	1	0.8%
99	無回答	3	2.5%
	計	121	



6 その他自由意見

問25 食・農・観の活性化拠点の整備に関して、ご意見をお聞かせください。

【主な意見】

- ・平川独自の風土、観光資源を押し出してもらいたい。一体施設として、ねぶた、郷土芸能を展示、説明する施設が必要だと思う。
- ・平川市在住の若者層に対して、安心して生活ができる、稼げるイメージが必要だと思う。若年層から中高年層が一体となって、様々な意見を統合しながら、暮らしの質を向上させ、魅力ある場所になってほしい。
- ・公園が老朽化で、昔より遊具が使えないところが多くなっているのので、子供たちが遊べる場所を作ると、家族連れでにぎわいが生まれると思います。
- ・市内外から人が集まるということを最も重要視してほしい。
- ・整備をして何を指すのかはっきりと市民に示してもらいたい。
- ・夕方以降ぐらいになると、市の中心街には家族や友達などと食事する場所も少なく、コミュニケーションをとる場所がない。会合とかの帰りの反省会、意見交換できる場所として、少し遅くまで開いているカフェでもほしいものだ。
- ・地元住民が運営に関わる住民に愛される施設にしてほしい。地元住民が日々訪れる施設にしてほしい。拠点までの交通機関の充実も大切（バスなど）。住民の意見を十分に聞いてから、施設をつくってほしい。
- ・時々マルシェのようなイベントを行っているようだが、情報が地元民でもなかなか入ってこないのので、伝わりやすい情報発信があると助かる。
- ・ハコを立派にするのではなく、中で何をするか・できるかを充実させてほしい。建物はシンプルであまりお金をかけすぎない方がいい。人が集まるのは、立派な建物ではなく、何を体験できるかだと思う。
- ・平賀駅から市役所通りは休日とても閑散としているので、できれば商工会跡地にみんなが集える施設があれば良いと思う。
- ・地域にとっては、ねぶたは時期的なもの以外なものでもないことも考える必要がある。
- ・地域外の人にとって、ねぶたに関する歴史や衣装、絵師は知らないことが多いので、県外者目線での施設づくりが大切だと思う。
- ・平川市らしさのあるお土産、平川市で作っているお土産がほしい。大きすぎず小さすぎず（職場で配りやすいくらい）で、1個400~600円ほどであれば多く買いやすい。
- ・市税の投入には反対する。
- ・桃を使った平川の特産品（菓子類）を作るべし。りんごのアップルパイなど作り、お土産など欲しい。